

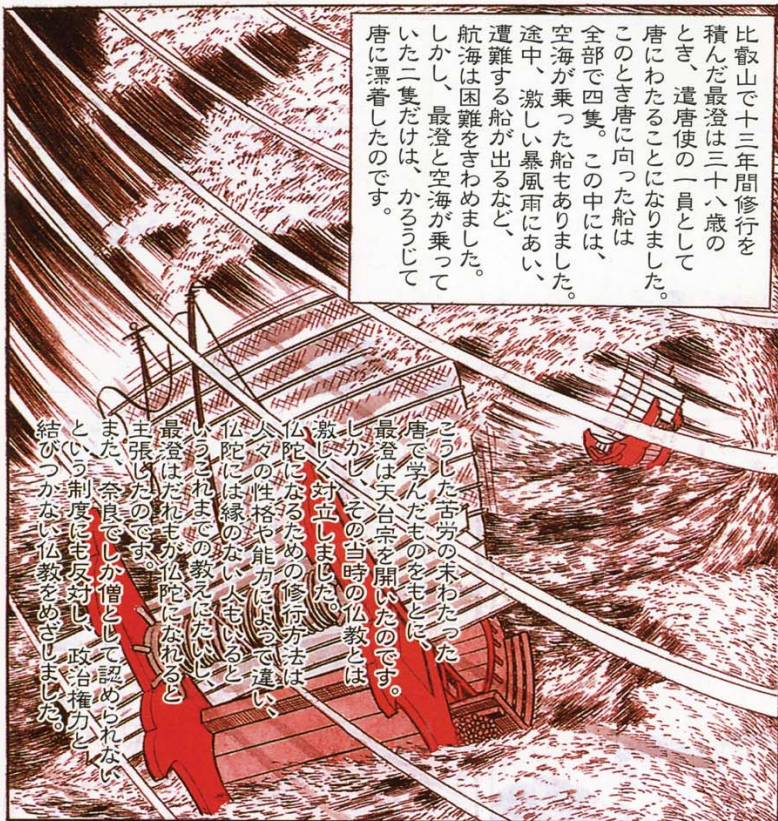
なるほど、なつとく



お仏壇の飾り方 てん だい しゅう 天台宗

保存版

入門 天台宗



これから説明する
お仏壇の正しい飾り方の
前にまず、
宗祖と
教義について
お話ししましょう。



宗 紋



菊輪寶紋

- ◆宗祖
伝教大師（最澄）（767～822）
- ◆唱名
南無阿弥陀仏（なむあみだぶつ）
- ◆本山
比叡山延暦寺
滋賀県 大津市坂本本町
- ◆教義
お釈迦様の最高の教えである法華経を最高の經典として、「人間だれでも仏性がある。それを開花するように努力すればだれでも仏になることが出来る」と教えています。
- ◆教典
般若心経・法華経・大日経・浄土三部経

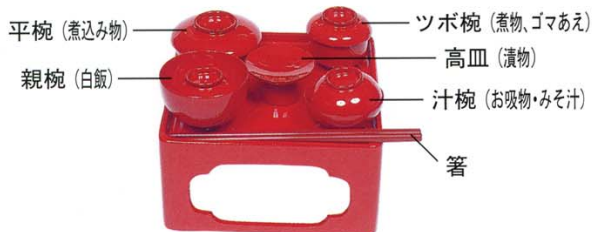
しい飾り方です。



お仏壇の名称と使い方

●お仏膳椀

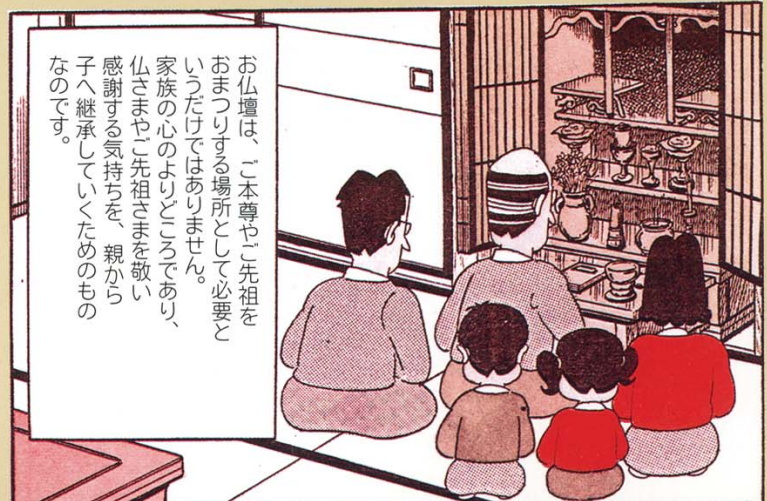
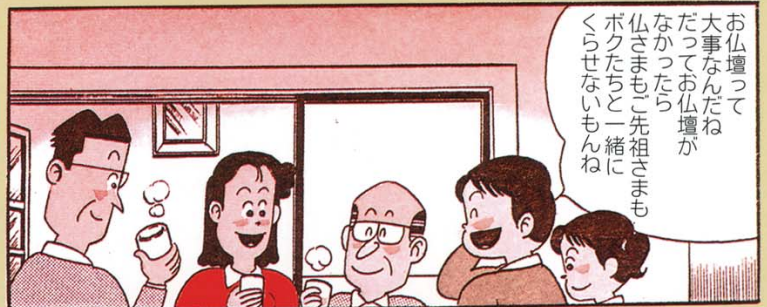
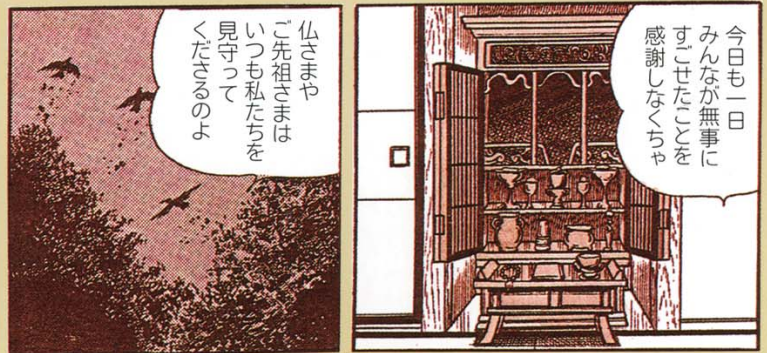
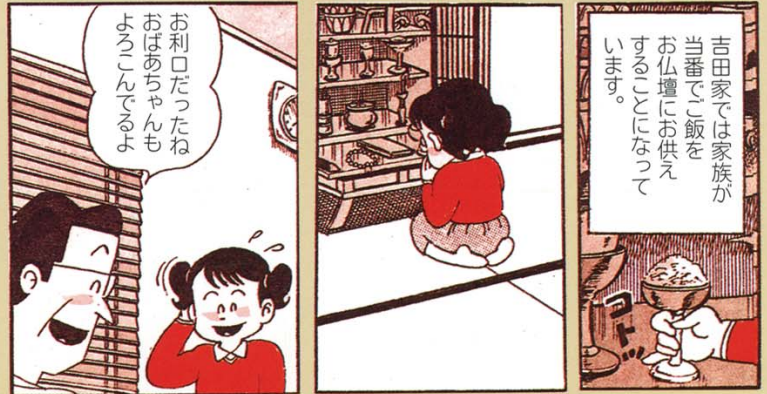
みほとけ、ご先祖さまに精進料理をお供えするときに使うものです。お供えは生きている人と同じように真心こめて、お給仕致しましょう。



※地方により並べ方が異なる場合がございます。

お仏壇は家族の心のよりどころ

お仏壇のある暮らし - 吉田家の場合



あなたのお家のお仏壇は正しい飾り方がなされていますか
右の写真と照らし合せて正しい飾り方を心がけましょう。



- ①ご本尊 (ごほんぞん)
天台宗のご本尊は、一般的に阿弥陀如来ですが、特別の規定はありません。
- ②脇侍 (わきじ)
ご本尊に向かって右側に伝教大師のお掛軸、または木像をおまつりします。
- ③脇侍 (わきじ)
ご本尊に向かって左側に天台大師のお掛軸、または木像をおまつりします。
- ④吊灯籠 (つりとうろう)
お宮殿の両側に一對つるし、ご本尊のお姿を明るく照らすために用います。
- ⑤瓔珞 (ようらく)
仏像の頸(くび)や腕、ひじ、脚などを飾る珠玉や貴金属で編んだ装身具のことですが、宮殿の装身具として使われます。省略されることもあります。
- ⑥仏器 (ぶつき)
お仏飯を盛る器をいいます。朝のおつとめの後にお供えし、正午にはお下げいたします。普段は一つでよいが、丁寧な場合は三つまでお供えします。
- ⑦茶湯器 (ちやとうき)
お茶、お湯、お水をお供えする器で、普段は一つ

- ⑧打敷 (うちしき)
でよいが、丁寧な場合は三つまでお供えします。装飾用の長方形の織物です。昔お釈迦様のお座所を飾ったといわれています。お正月・お盆・彼岸・年忌法要などの重い法要の時のみ用います。
- ⑨高坏 (たかつき)
ご仏前の左右においてお菓子や果物をお供えします。足の高いお皿にあたるものです。
- ⑩五具足 (ごぐそく) または三具足 (みつぐそく)
燭台・花瓶・香炉のことを三具足と呼びます。五具足の場合は燭台・花瓶が一對ずつになります。
- イ 燭台 (しょくだい)
ローソク立のことです。正式には一對でお飾りします。ローソクの光は、如来の智慧の光を象徴するものです。ローソクの光に、すべての人の心の闇を照らし出し、救済しようとはたらきかけておられる如来の心を感じたいものです。
- ロ 花瓶 (かひん)
花瓶は、古来インドで香水を入れるのに用いた花瓶をかたどってあります。生花または金蓮華をお飾りします。
- ハ 玉香炉 (たまこうろ)
香をたく器です。
- ⑪香盒 (こうごう)
お香を入れる入れ物です。
- ⑫お位牌 (おいはい)
お位牌は、亡くなった人の戒名(かいみょう)や死亡年月日を記して、お仏壇におまつりする、いわば個人のシンボル(象徴)に当たるものです。白木の野位牌は、四十九日までに塗りの本位牌をつくり、忌明けからは本位牌をお仏壇におまつりします。五十回忌が過ぎたら祖霊に合祀されるとよいでしょう。本位牌を新たに仏壇におまつりする時は、開眼法要(かいげんほうよう)といってお寺のお坊さまに入魂のお経をあげていただきます。

- ⑬過去帳(かこちょう)・過去帳台(かこちょうだい)
過去帳は、亡くなった人の戒名(かいみょう)や俗名・死亡年月日などを記しておく記録帳です。
- ⑭靈膳(れいぜん)
法要などで一汁三菜の精進料理を仏さま・ご先祖さまにお供えするときに使うものです。靈膳は料理を盛り付けましたら仏前に箸が向く様にお膳をまわしてお供えします。靈膳は法事・命日・盆・彼岸・お正月などに供えます。
- ⑮前香炉(まえこうろ)
お線香立のことです。お線香は、仏様の前に出るときに心身とも清浄にするためのものです。少量でも、良質のものを使いましょう。
- ⑯鈴(りん)
チーンと打ちならすカネの音は八万四千のほのけの世界に届きます様にと念を込めて鳴らします。また人々の邪念を払うと共に、読経の時に打つ事が指示されている重要な荘厳具であります。
- ⑰撥(ばち)
鈴を打つ棒で、おつとめの時以外は鈴の中に正面を向けておきます。
- ⑱鈴台(りんたい)
鈴を置く台を鈴台といえます。
- ⑲木魚(もくぎょ)
木魚は、読経用の打楽器です。表面に玉鱗(いしな)二頭の竜頭(りゅうとう)を彫ってあります。魚は常に目を開けているので、それにちなみ怠惰をいましめるために魚板を叩いたことから、変形して木魚になりました。
- ⑳經机(きょうつくえ)
お経の本や香炉あるいは鈴を置く机のことです。

お仏壇の飾り方は、お仏壇の形式・サイズ・お仏具の種類及び地方の習慣により異なる事があります。必ず当店にお問合せ下さい。

これだけは知っておきたい 天台宗のQ & A

日常礼拝の
しかたを
教えてください。



① 朝起きたら

お仏壇を掃除し、
お灯明をともし線
香や仏飯・茶湯を
お供えします。線
香は三本供えます
が、香炉が小さけ
れば一本でもかま
いません。



② リン

まず、リン（カネ）
を打ちます。



③ 合掌・礼拝

姿勢を正して合掌
礼拝します。
「南無宗祖根本伝
教大師福聚金剛」
の宝号を唱えます。



④ 到来物のお供え

いただきものをし
たら、お仏壇へお
供えする習慣をつ
けましょう。



⑤ 就寝前に

寝る前にも合掌礼
拝し、火元を確認
して扉を閉じます。



お数珠とその
かけ方について
教えてください。

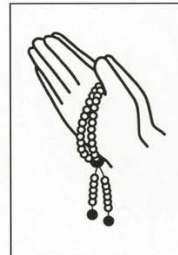


念珠は大切な法具ですから、家族ひとりひとり
が、かならず持ちましょう。
自分にふさわしい、あまり粗末でない品をえら
ぶことが大切です。

● 天台宗の数珠



● かけ方



年中行事は
どんなものが
ありますか



- 開宗記念法要（一月二十六日）
- 太子講（二月二十二日）
- 御修法（四月四日〜十一日）
- 山王祭（四月十四日）
- 山家会伝教大師忌（六月四日）
- 宗祖降誕会（八月十八日）
- 霜月会天台大師忌（十一月二十四日）

◆ 全国優良仏壇専門店会加盟店 ◆

〈仏壇、仏具、神具、寺院用具、墓石〉



創業百余年

佛壇の斗谷

本店 秋田市大町一丁目4-37
 (仏壇・寺院用具) 電話 018(824)3181
 石材部 秋田市寺内神屋敷70
 (墓石展示場) 電話 018(863)8284